




文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	RONY MD		
カナ又は漢字氏名	ロニー エモデ		
2.出身国又は地域	バングラデシュ		
3.学年	2		
4.学校名	上野法律ビジネス専門学校		
5.学種	専修学校専門課程（専門学校）		写真 タイトル 留学生頑張っています！！
6.所属研究科・学部等名	総合ビジネス学科		
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月		
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>私は子供の頃から日本は優しく、親切な人が多く、とても安全な国だと教わってきたため、日本に留学し、将来日本で働くという夢をいただいていた。そのため、母国にある日本語学校を自ら探し、約半年間日本語を勉強しました。日本語を勉強していくうちに、日本に留学し、さらに日本語を学びたいという気持ちが強くなり、様々な学校を探しました。そこで日本語学校の先生からの紹介で岩手県の学校を知りました。調べていくうちに、岩手県の自然豊かな景色やきれいな街並みにとても惹かれ、岩手には静かで集中できる学習環境が整っていると感じ、この学校に留学することを決めました。来日した時は、ホテルか自動車業界への就職を目指しておりましたが、自分の趣味である観光地での写真や動画撮影を通じ、観光業への関心が高まり、現在観光に関する勉強をしています。</p>			
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>学習面では、静かで集中できる学習環境が整っており、JLPT N2取得のほか、検定試験にも合格することができました。生活面では、先生方のサポートのおかげでアルバイトも問題なくできましたし、何より日本人の友人がたくさんでき、とても楽しい留学生活でした。ただ、母国にはない漢字の学習と、初めて経験した雪国の冬はとても大変でした。感じたことのない寒さと、慣れない雪道にとても苦労しました。この1年間、学習奨励費を受給できたおかげで、首都圏への就職活動もスムーズに行うことができ、希望するホテルへの就職も決まりました。さらに、これからの日本での生活に向けて自動車学校にも通うことができ、大変有意義な学校生活を送ることができました。</p>			
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>最初は初めてのことばかりで苦労したのですが、だんだんに試験にも慣れ、4社受験し、2社から内定をいただくことができました。特に面接試験ではとても緊張してしまい、自分をうまく表現することに苦労しました。就職活動にあたり、担任の先生が親身になってサポートしてくれて、たくさんアドバイスをしてくれました。本当に感謝しております。希望していたホテルへの就職が決まり、とても嬉しく思っています。</p>			
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>勉強するには静かな環境がおすすめです。また、来日前にしっかりと日本語の勉強をしてきたほうがいいです。授業はもちろんですが、アルバイトなど日本で生活するためには、来日前の日本語の勉強がとても大切です。</p>			


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	SAMARARATHNA KODIKARA KANKANAMGE MINIWAN PRIYA ISURU	
カナ又は漢字氏名	サマラッタ コディカラ カンカマゲ ミヌワン プリヤイスル	
2.出身国又は地域	スリランカ	
3.学年	3	
4.学校名	日産栃木自動車大学校	
5.学種	専修学校専門課程（専門学校）	写真 タイトル GT-Rと一緒に！実習場にて
6.所属研究科・学部等名	一級自動車工学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>私は子どもの頃から車が大好きです。車の運転と仕組みに興味がありました。そこで世界でも有名な自動車メーカーがある日本に留学して自動車を学ぶことにしました。</p> <p>車の中でも大好きなGT-Rを作っている日産自動車の直系校「日産栃木自動車大学校」で、勉強したいと思いました。日産栃木自動車大学校は、日本人と一緒に車の整備が学べる学校であることも魅力の一つでした。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>私は日本に住んで4年が経ちました。この4年間は、楽しいことや悲しいことがありました。日本語学校では日本語を2年間勉強しました。この2年間で人生の中で一番大変でした。なぜなら、遠い故郷(スリランカ)から出国して初めての留学生活だったからです。母国では身の回りのことは、父や母のサポートがあるのが当たり前でした。それを全て自分でやるのがとても大変でした。日産栃木自動車大学校に入学してからは、新型コロナウイルスの影響で生活がとても苦しかったです。そのような状況の時、学習奨励費に採用となったので一級自動車工学科の勉強を続けることができています。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>私は現在、一級自動車工学科の3年生です。2022年11月から就職活動が始まりました。目標は日産のディーラーに就職することです。就職試験の面接練習などは、先生がマンツーマンで指導をしてくれるので、本番でも緊張せずに自分をアピールできそうです。私は就職してからも、メカニックの経験を活かしながら、いろいろな資格取得にチャレンジしたいです。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>私は新型コロナウイルスの影響で、アルバイトのシフトの時間を減らされました。学費の一部と生活費を支払うことが難しくなってきた頃に学習奨励費に採用となり、とても嬉しかったです。皆さんも日本での留学生活が大変になっても、自分の夢や目標をあきらめないで勉強を頑張ってください！</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	TRAN THI DIEU THUY	
カナ又は漢字氏名	チャン ティ ディエウ トウイ	
2.出身国又は地域	ベトナム	
3.学年	2	
4.学校名	グレッグ外語専門学校	写真 タイトル
5.学種	専修学校専門課程（専門学校）	
6.所属研究科・学部等名	国際ビジネス学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>子供の頃から日本のドラマをよく見ていました。そこで見た日本の四季折々の景色に興味を惹かれました。ベトナムにも四季はありますが、桜や紅葉や雪はありません。そこで日本の美しい四季の風景を実際に見たいと思ったのが日本に興味を持ったきっかけでした。高校生になってからは、日本の会社がベトナムに多数来ている事をしり、日本への留学を決心しました。両親も最初は心配していましたが、兄が既に日本で留学をしていたので許してくれました。留学が決まってからは4か月間は必死で日本語を勉強しました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>来日したばかりの時は、日本人が何を言っているのか全くわかりませんでした。会話力をつけるためにレストランでアルバイトをはじめ、日本人の友達もできた事で、言葉だけでなく文化や習慣も学ぶことができました。学習奨励費を頂けるようになってからは、アルバイトを減らしその分、勉強や就職準備に充てる事ができるようになりました。ベトナムにいたらできなかったであろう、自立や成長も実感でき、充実した留学生活を送っています。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>日本の企業へ就職することが留学の目標でしたので、自己分析、履歴書の準備などで切限りの努力をしました。そのかいがあって、人材紹介の会社から内定を頂きましたので、卒業後は今度は私が日本で働きたい留学生の力になれるよう、さらに努力をして社会人として成長していきたいと思っています。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>日本の会社が私達外国人留学生に求めるものは、語学力だと思います。日本語、英語、ベトナム語に加え、いろいろな事に順応していく力をつけるよう、毎日コツコツと努力を続けていってほしいと思います。成功は一朝一夕にはできることではないと言う事を最後に伝えたいと思います。</p>		

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	CHI HUALING		
カナ又は漢字氏名	池 華玲		
2.出身国又は地域	中国		
3.学年	2年生		
4.学校名	読売理工医療福祉専門学校		
5.学種	専修学校専門課程（専門学校）	写真 タイトル	留学生活
6.所属研究科・学部等名	介護福祉学科		
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ～ 終了年月 20 23 年 3 月		
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>中学生の頃から日本のアニメを見るのが大好きで、日本に興味を持ちました。また祖母が年をとっているので家族の介護が必要になり、介護にも興味を持つようになりました。その事を家族に相談し、中国の短期大学を卒業してから、アルバイトをしながら日本語の勉強を始めました。</p>			
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>日本に来てから日本語学校で2年間勉強しました。日本語学校の先生は優しく日本語を教えてください、それ以外に日本文化を教えてくださいました。クラスメイトには中国の留学生とその他様々な国から来日した留学生がいました。授業後、様々な国籍の留学生と文化交流するのが楽しかったです。学校が休みの日も、色々な所へ旅行に行きました。旅行先の風景はとてもきれいでした。日本語学校の先生に卒業後の進学をどうしたらよいか相談したところ、読売理工医療福祉専門学校をすすめてもらいました。そして、試験と面接を受けて合格できました。読売理工医療福祉専門学校に入学したら、クラスメイトは日本人が多く留学生が少ないので日本語学校の雰囲気と全く違う事に気づきました。入学したての頃は自分はここでやっていけるのか、大丈夫なのか、と不安になる事が多かったのですが、クラスメイトは皆私に優しく、わからない所は面倒臭がらず親切に教えてくださいました。介護福祉学科の校内授業の他には、介護施設に行き現場の見学実習もあります。校内の授業では体験できない現場での職業体験をすることができます。その介護施設実習では利用者のお年寄りの方々が緊張している留学生に優しい言葉をかけてくださるので、私は本当に勇気をもらいました。利用者としてではなく、人生の大先輩として大きな経験と様々な知識、社会に出るためのマナーなどを学ぶこともできました。毎回行われる施設実習では、貴重な経験をすることができます。来年1月の国家試験に合格するため、今は外に遊びに行くことを控えて一生懸命勉強しています！！</p>			
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>9月から就職活動を始めました。一年生の時、実習でお世話になった施設の職員の方達から「利用者の尊厳を守り、利用者の意思を尊重して介護を行う」という利用者さんに対する施設の姿勢に強く共感し応募しました。面接が心配で、施設に努めている先輩や学校の先生からアドバイスを頂き「あなたなら絶対に大丈夫だよ」と皆から温かい言葉をもらったので自信满满で面接を受けることができました。面接も和やかな雰囲気になりました。その2日後に内定を頂きました。</p>			
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>留学中、特に中学や高校で海外に出る人は、自分の精神面と体調面の管理をしっかりとおススメします。「体」と「心」のバランスが取れていないと海外で生活している際、不安でネガティブな気持ちが続いてしまうことや、現地の病院に通う状況になってしまうこともあります。しかし、毎日元気に楽しく過ごすことがベストということではありません。平日は勉強に集中して週末は友達との時間を目一杯楽しむ。体調の様子をみて予定を立てることや、疲れたら焦らずに一度立ち止まり、体を休める時間を取ることも大切だと思います。</p>			

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	HONG ZHIYUAN		
カナ又は漢字氏名	洪 志遠		
2.出身国又は地域	中国		
3.学年	2年		
4.学校名	日本電子専門学校		
5.学種	専修学校専門課程（専門学校）	写真 タイトル	卒業研究企画書の発表
6.所属研究科・学部等名	AIシステム科		
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月		
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>日本に留学する前、私は自分の将来についてとても悩んでいました。その時、ちょうど姉が日本で留学をしていたので、日本の文化や留学生活など色々なことを教えてくれました。自分も日本の文化に興味を持っていて、大学2年生の時、一度日本に来ました。実際に目で見て、本当に日本に長い時間に住みたいと思い、日本留学を決心しました。そして、大学を卒業後、日本に留学して来ました。</p>			
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>最初日本に来て、日本語学校に通いました。その時日本語を勉強しながら、コンビニのアルバイトもしていました。日本語を学んだ上で、社会の経験も積むことができ、良かったです。そして進学するために、色々な学校のオープンキャンパスに参加しました。自分がパソコンに興味を持っているので、日本電子専門学校に入学することを決めました。入学後毎日学校の授業が終わってからも、教室に残って、夜8時まで勉強しました。さらに、勉強の成果を確認するために資格の勉強も始めました。日々の授業に加えて、資格の勉強をすることは大変でしたが、目標の達成のために自己管理することで、統計検定2級を含めて、複数の資格を取得することができました。二年生になって、奨励費をいただくことができました。そのおかげで、もっと集中して勉強することができました。今も色々な資格をチャレンジしています。</p>			
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>最初就職活動の時、マナーなどのこともわからず、本当に大変でした。私は人の前で話すことや自己分析などがとても苦手なので、面接が大変苦労しました。これを乗り越えるために、面接でよく聞かれる問題を事前に準備しました。どのような答えがよいか分からない時、自分でネットで調べたり、先生の意見を聞いたりしました。面接練習も何回繰り返しました。その結果、無事に会社から内定をいただくことができました。</p>			
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>日本語で専門知識の勉強は大変と思います。その勉強の内容をしっかりと理解するために、日本語は必須です。もし日本で就職したいなら、日本語能力試験一級がもちろん大切ですけれども、それ以外は専門的な資格も一つ以上を取得したほうがいいです。これは就職の時はとても役に立つと思います。</p>			


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	Mukhamatullina Aygul	非公開
カナ又は漢字氏名	マハマツリナ アイグリ	
2.出身国又は地域	ロシア	
3.学年	2年	
4.学校名	東京国際ビジネスカレッジ	
5.学種	専修学校専門課程（専門学校）	写真 タイトル
6.所属研究科・学部等名	国際経営学科 国際貿易コース	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>日本への留学までロシアで家庭教師をしていました。 家庭教師では、英語と中国語を教えました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>日本に来て以来、学校やアルバイトなど、様々なイベントで毎日の生活は忙しくなりましたが、大変だとは思いませんでした。なぜなら、楽しいという気持ちが強かったからです。そういった生活の中で自分の時間が特に価値があると強く感じました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>全ての費用は自分で負担していたので、学業とアルバイトの両立でとても忙しかったです。</p> <p>就職活動が始まってから、すべてをうまくできるかどうか悩みました。しかし、奨学金のおかげで、アルバイトの時間を少し減らし、資格勉強と就職活動に集中できました。</p> <p>そのため、就職活動が上手くいったと思います。</p> <p>ずっとお寿司屋さんでアルバイトをしてきましたこともあり、飲食店の管理仕事に興味を持ちました。その理由で、就職活動では飲食に関係する会社を選び、四月から入社することになりました。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>日本に来てから、私の生活は変わりました。自分の力と能力に自信を持ちました。日本は留学生にたくさんチャンスをあたえます。後輩のみなさんも頑張って、ちゃんと勉強すれば、必ず成功すると思います。</p>		

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	DINH MINH VUONG	非公開
カナ又は漢字氏名	ディン ミン ヴォン	
2.出身国又は地域	ベトナム	
3.学年	1年	
4.学校名	大阪バイオメディカル専門学校	
5.学種	専修学校専門課程（専門学校）	写真 タイトル
6.所属研究科・学部等名	日本文化教養学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>中学のとき、日本文化クラブに参加して、初めて異文化を体験しました。そのときから日本を知るようになって、アニメやマンガにも興味が出てきました。高校を卒業して、留学するチャンスがありました。そこで、私は留学先を日本にしました。実際に日本で生活し、日本文化を体験したかったからです。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>コロナ感染が広がっていったとき、いろいろ大変なこともありました。アルバイトが減ってしまって、生活も苦しくなった時期もありましたが、奨学金のおかげで勉強に集中することができました。コロナのため、家にいる時間も多くなって、勉強の時間も多とることができました。そのときは不安なこともありましたが、進学に向けてとにかく勉強に励みました。その時間はとても貴重な時間になりました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>大学に合格できるように自分でできることは自分で頑張りました。しかし、先生や先輩など、周りからのアドバイスもたくさん聞いて、参考にしました。将来の計画をしっかりと立て、将来の仕事のために何が必要かを考えて、いろいろなことに取り組んできました。たとえば、日本語の勉強だけでなく、将来のために英語も勉強してきました。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>留学生活はいろいろ大変なことがたくさんありますが、その大変なことを乗り越えれば、自分自身を成長させられると思います。</p>		

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	TAMANG SURESH	
カナ又は漢字氏名	タマン スレス	
2.出身国又は地域	ネパール	
3.学年	2年	
4.学校名	CODO外語観光専門学校	
5.学種	専修学校専門課程（専門学校）	写真 タイトル 就職活動
6.所属研究科・学部等名	商業実務専門課程 観光学科 ホテルマネジメントコース	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>私は日本に来る前、母国のネパールで香水店の社員として働いていました。働き始めて3年後に営業を任せられ、仕事に慣れてきた営業担当3年目の時に、私はふと何か新しいことにチャレンジしたいと思うようになりました。</p> <p>私は子供の頃、日本が作った学校で勉強していたことから日本へ興味があったため、日本へ留学して自分を成長させたいという思いが強くなり、それから日本語を猛勉強し日本へ留学することができました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>来日して勉強しながら、はじめてアルバイトもしました。はじめは大変でしたが、母国で働いた経験があったことで、すぐに順応することができました。</p> <p>私は日本語学校から専門学校に進学したので、この4年間は学校の勉強はもちろんですが、住んでいる町のイベントに参加したり、私が中心となりボランティア活動をしたりするなど、地域の方々とも積極的に交流してきました。その中でも、高校生の方々とお互いの夢や目標を話し合ったことは、とても良い経験になりました。</p> <p>そして2022年度は奨学金を頂くことができ、この1年は特に私にとって大切な時間となりました。奨学生としての自覚、ひとりの社会人となる者としての自覚など、責任感を持って過ごすことができました。</p> <p>この4年間は楽しいことばかりではなく、家族に不幸事があつたりして、悲しいこともありました。それでも、周りの方々からサポートして頂いたことで、乗り越えられ、充実した4年間にすることができました。日本に来る前の自分と、今の自分では全く違うことを私自身が一番感じています。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>就職活動が始まった時は、日本人の学生と戦うことにとても不安を持っていました。実際に会社を受ける中で、不採用の結果をもらうこともあり落ち込んだ時もありました。それでも私は失敗から学び、次はどうすれば他の学生より目立つのか、面接官に良い印象を与えることができるのか考えました。悩み立ち止まった際には学校の先生に相談しながら、自分の形を少しずつ作ることができました。私が出した結論の一つは、留学生だと思われぬような日本語を面接で話すことでした。最初は緊張して思うように話せていなかった日本語が、練習の繰り返しで自信を持って話せるまでになりました。その自信は面接本番でも私の力になり、その結果、無事に沖縄のリゾートホテルに内定をもらうことができました。</p> <p>就職活動の経験は、社会人になってからも忘れず、より一層成長していきたいです。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>学生生活は、仲間と楽しい時間を過ごすと思います。しかし、就職活動では仲間もよきライバルとして一緒に切磋琢磨することをお勧めします。お互いに常に上を目指して成長し、目標を達成できた時、言葉では言い表せない感覚でした。</p> <p>もしそんな仲間がいれば、みなさんもその感覚を体験してみてください。</p>		